＜先週の説教から＞

『ヘブライ㊷ーこの人たちは信仰によって』

武田真治牧師

列王記上 19：11-18　ヘブライ書 11：32-40

“信仰の章”と呼ばれるヘブライ書の 11 章も本日で読み終えることになります。最後はたくさんの信仰者たちがまとめて列挙されています。「ギデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、サムエル、また預言者たち」と。いままで、アベル、エノク、ノア、アブラハム～と一人一人、その信仰を取り上げていたのに、急に結論を急いでいます。それを著者は「これ以上、何を話そう。時間が足りない」と言っています。不思議です。手紙なら枚数が足りないというべきではないでしょうか。ただ、ここにこの手紙がもともと《説教》であったことが分かるのです。余りにも詳しく話し過ぎたかなと感じて、ギデオン＝士師記以後の人達の信仰がまとめて紹介されています。即ち「信仰によって、この人たちは国々を征服し、正義を行い、約束されたものを手に入れ、獅子の口をふさぎ、燃え盛る火を消し、剣の刃を逃れ～」と。これらの行動は、誰か一人に限らず、何人かに重なって為されて来たものでした。更に、彼らだけでなく続けて「女たちは、死んだ身内を生き返らせてもらいました」と。この女性たちは、預言者エリヤとエリシャに各々、子どもを生き返らせてもらった、サレプタに住んでいた女性とシャムネの町の婦人です。そして次の「他の人たちは、更にまさったよみがえりに達するために、釈放を拒み、拷問にかけられました。また、あざけられ、鞭打たれ、鎖につながれ、投獄されるという目に遭いました。」と言われている人々は、私たちにとれば聖書の『続編・外典』にあたる「マカバイ記」に登場するマタテァやその五人の子供たちの殉教の様子、更にはユダ・マカバイ等による戦いの様子が考えられていると思われます。このように、創世記のアベルから始まりアブラハム、モーセ、士師やダビデ、預言者たち、そして続編に至るまで、まさに旧約聖書全体の信仰者を網羅していると言い得ます。

その上でヘブライ書の著者は「この人たちはすべて、その信仰のゆえに神に認められながらも、約束されたものを手に入れませんでした。」と語ります。ここでの「この人たち」とはまさに旧約聖書の信仰に生きた人たち、すべてのことでしょう。彼らが、神様を求めて、神様に従って生きたことは、神様から“賞賛される”に違いないけれども、最終的な“祝福”を受けたかと言えば、そうではなかったと。言い換えれば、旧約聖書の信仰者たちはまだ目標に達していないと。

その上で著者は、次の節で「神は、わたしたちのために、更にまさったものを計画してくださったので、わたしたちを除いては、彼らは完全な状態に達しなかったのです。」と、この 11 章の最後の言葉＝結論としているのです。まさに、イエス様の到来こそ、最後の完全な救いのご計画であったのだと。すべてはこの時に向かって進められて来て、今の私たちの存在こそ“信仰の完成形”だから、故に、またユダヤ教や旧約の信仰に戻るということはあり得ないのですね！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ.3 月 1 日（水）20：00
　　Ⅱ.3 月 2 日（木）10：30
聖　　書：　ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：　世界祈禱日 3 月 3 日を覚えて
担 当 者：　（水）金刺　（木）長田
祈りに覚える人：上松さん　　歌さん
ひつじ雲の会：2 月 28 日(火)　13:30～

【教勢報告】

主日礼拝　　男 21　　女　53　　計　74
祈祷会　Ⅰ．男 4　女 2　計 6　　Ⅱ．男 3　女 6　計 9
日曜学校　　幼稚科 12　小中科 15　　計　27

【次週主日礼拝】　　3 月　5 日（日）

聖　書：　イザヤ書　３０：１８～２２
　　ヘブライ人への手紙　１１：３９～１２：３
説　教：　「ヘブライ㊹―人生というマラソン」
　　武田 真治 牧師
讃美歌：　３００(1)、３２(1)、４８４(1と2)、
　　３１０(1～3)、９０(1)

【次週当番表】

司式:金刺長老　奏楽:中村　礼拝:岩佐長老
献金：上松　大竹　　受付：鈴木　橋本
会堂準備：浅井　阿部　齋藤　山田
看板：保坂　　週報：岩佐　　お花：森本

【次週集会予定】
礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：・3 月誕生者祝福・会堂管理委員会
　　・長老会　・聖歌隊練習

週　報

2022 年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２３年　　２月　２６日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/